

馬放

農地・水・通信

第16号

発行日：平成27年6月10日

<http://mahanasi.sakura.ne.jp/>

馬放地区農地・水・環境保全向上活動の目指すところ

- 農地・農業用施設の良好な維持、保全
- 農地・農業用水の長寿命化
- 自然環境、景観、歴史、文化、伝統の保全

農村は農家の人ばかりでなく、地域そして「みんなの宝」です。

今年も緑や花が美しく輝いております。桜の花も平年より一週間も早く咲き、異常気象が心配されると報じられておりますが、そのようにならないようお願いいたします。

美しい馬放をみんなで守り続けましょう!!

3月29日 26年度総会開催

26年度の主な活動

26年度の事業報告、決算報告、27年度の活動計画、予算など話し合われました



5月25日	役員会	13人
6月8日	草刈り	39人
6月8日	草取り	11人
6月15日	植 栽	40人
6月22日	生き物調査	44人
7月20日	草刈り	30人
7月27日	かかしづくり	80人
8月9日	草取り	33人
8月10日	生き物調査	20人
9月7日	草刈	35人
11月30日	農道整備、泥上げ	46人
12月6.7日	農業国際会議参加	12人
3月15日	水路・側溝泥上げ	35人
3月29日	総会	27人

集落のみんなが協力して活動することが一番大切だね。将来の馬放をどう創造するのか真剣に検討しなければ!!

9月上旬個々草刈り

傾斜がきついから気をつけて！



9月7日 草刈り

35名参加



共同の草刈りも大変だけど、個人でやる草刈りもおどげでねっちゃんね。どっちにしても草刈りは大変です・・・



フェンスの周囲は草刈りの刃がぶつからないよう慎重に !



9月8日 機場点検

1年間でこんなに泥が詰まるんだね！グリスも注入して、来年も頑張ってくださいね。



11月9日 役員会



植栽は？機能点検は？
農道整備は？
泥上げは？
等々いろいろな作業について話し合いが行われました。



11月16日 施設の点検



この水路はみんなで泥上げをした方がいい！
ここのマスは俺たちで直せないから改良区に依頼だね。
この道路はいろいろな車が通るから相当痛んでいるね。
丁寧に見て回りました。



ここにも砂利が必要だね？
んだね～～！

11月26日 機械整備

1年間お世話になった畦刈り機械の清掃と点検



11月30日 農道整備と開水路の泥上げ

33名参加

農道整備ではいつもながら、トラクターとユンボが大活躍
そして給水槽の泥上げにもかかせない存在になりました。



前日の雨で農道のいたる所で水たまりを
発見。
その水たまりに砂利を
補充。



泥上げの様子
水路の水が流れないためにぎっしりと生
えた草を取り除くのは大変な作業です。
本当に腰が痛くなるねえ～



機能点検で見つかった水路の痛んだところを土嚢袋で初期補修



細長い土嚢袋に土を入れる作業



土嚢袋を放り投げて！



11月30日 草取り

精鋭6名での花壇の清掃、草取り。片付けた後の草もすごい量でした。



4月に張った防草シートが風などで飛ばないように重石代わりに土嚢袋を置いて



12月6.7日 第3回生物の多様性を育む農業国際会議2014

私達が参加したのは6日と7日でしたが、韓国、中国の方々も参加していて、環境問題や生物の多様性、農薬に頼らない稲作農家が取り組む問題、生き物の調査の取り組み等についてお話を聞いてきました。



生物多様性キャラクター
タヨちゃん、サトちゃん
そして大崎市のキャラクター
ターパタ崎さん

6日のパネラー
の皆さん。



国際会議に参加して



中ホールでは馬放地区農地水の活動も紹介され、守屋会長も鼻高々

12月5.6.7日の3日間を亘り、大崎市長主催による「第3回生物の多様性を育む農業国際会議2014」が開催され、日本、中国、韓国からも多くの来賓があり、「生物の多様性について」をテーマに、各地の状況について報告と討論がなされました。日本人の主食である「米」は大抵の苗から栽培されている作物です。米を栽培するには必ず水が必要です。その水を用いる流入する為、沼や池があり、又川から水を取り入れてきました。その沼や池や川や小川には、このようにさまざまな生物、タナゴ、ドジョウ、ギンギョ、ゲンジロウ、貝類、とんぼや、魚の幼虫もいっばい生えています。

最近の田んぼは基盤整備事業により、以前の1反から1町歩と規模が大きくなり、田んぼに掛ける用水も水路からではなく、水栓から掛ける方法に変わり、以前の水路がなくなりました。(但し排水路にはコンクリート製のU字溝があります)その為水生生物が生活していく場所がなくなり、極端に減っています。この様なことは馬放だけでなく、各地域(中国、韓国も同じ)の問題となっています。

再びとんぼや魚、そして多くの種類の川の生き物が生える場所作りが求められています。

JA古川では米の栽培に、農薬と肥料を慣行の50%に減らす「環境保全米」の作付面積拡大を推進しています。しかし取組状況は20%に満たない現状です。「環境保全米」作りには雑草、病害虫防除の懸念がありますが、現在上り立っている農薬の中には、毒性が低く環境にもよい製品が多く開発されているので、そのような製品を選択して使用して、田んぼの生き物を増やしていく必要が求められます。

馬放の中、年間を通して通水する事が可能な遊休農地を利用し、自然の生き物の生息場所と造ることを、地区民皆んで話し合いをしています。近い将来実現は、皆見られたい自然の生き物の復活ができるようにしたいものと思っています。

そして生き物調査がもっと盛んになるようにしていきたいと思っています。

守屋 嘉一

2月1日 役員会



- 今後の日程
 - ・泥上げ、総会
 - 看板作製
 - 業道設置
- 等について話し合われました。



3月7・13日 会議

さすが馬放と言われるような見本となる看板を作りすべ！
なんぼかがんだべね・・・



どんな看板がいいのか、それぞれ意見が交わされました。

3月15日 水路・側溝泥上げ



お〜い。
こっち手伝ってけろ !!





泥が溜まると水が流れなくなり、草が生えて大変だ。ちゃんと泥上げすっぺす。
何がいたすか・・・

27年度の主な活動計画

月 日	活 動 内 容	開始時間
6月7日	開水路・農道草刈	6:00
6月13日	花壇の整備、草取り	8:00
6月14日	植栽	8:00
6月28日	第1回生き物調査	6:00
7月中旬	開水路・農道草刈・花壇の草取り	
7月下旬	かかしづくり	
8月中旬	第2回生き物調査	
9月上旬	開水路・農道草刈・花壇の草取り	
11月中旬	施設の点検	
11月下旬	植栽	
11月下旬	農道整備・農用地法面補修技術研修	
2月下旬	勉強会	
3月下旬	総会	

※必要に応じて役員会、施設の点検を行います

皆様のご協力よろしくお願いたします